

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	中央・東消防署救助活動事業	所管	中央・東消防署 消防課
			TEL 2929-9125/2998-1190

事業の目的 (何の為に 行うか)	消防法第1条により、消防の任務は国民の生命、身体及び財産を災害や事故から守ることであり、119番通報等による救助要請により、特別救助隊及び消防隊、救急隊が出場し、救助資器材等を活用し、救助活動を行なう。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	42	人

活動の 内容	(何を したか)	1. 救助出場 2. 救助工作車、救助防災資器材の点検整備事務 3. 救助現場を想定した救助活動訓練 4. 救助技術の向上と研鑽を目的とする救助技術指導会に参加するための救助種目訓練									
		活動 実績	項目 名	救助出場件数	381		項目 名	救助活動件数	67		項目 名
				----- 単位 件				----- 単位 件			----- 単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	521	521	311,744	919.4

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	救助出場から現場到着までに要した時間	救助出場から現場到着までに要した時間	300	301	99.7
			----- 単位 秒	----- 単位 秒	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了				
		予算	現状どおり 増額 減額 終了			

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名	中央・東消防署救助活動事業	担当部課	部課コード	100603	TEL	2929-9125/2998-1190
事業コード	100603	中央・東消防署	消防課			
開始年度	昭和 55 年度	→	終了年度	平成 年度		

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令	消防法第36条の2
	分野別計画・指針	なし				
	関連・類似事業					
	総合計画の体系	政策	第6章 みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち	施策	1節 消防・救急	中柱 1 消防力の充実
		-H19市民意識調査における施策の順位...43施策中 13 位				-実施計画における位置づけ... H19 *** H20 ***
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	コード				
	コード	3621	事務改善活動等の充実・強化	コード		
	事業開始の背景	昭和55年、各種の災害に対処するため、救助工作車を配備したことにより、当市に特別救助隊が編成された。昭和61年都市化の進展に伴う救助対象の増加や多様化に対処するため、消防法の一部改正公布された。これにより、救助隊の編成、装備及び配置等、救助隊の位置付けが定められた。				

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	消防法第1条により、消防の任務は国民の生命、身体及び財産を災害や事故から守ることであり、119番通報等による救助要請により、特別救助隊及び消防隊、救急隊が出発し、救助資器材等を活用し、救助活動を行なう。			
	対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方	市内で発生した救助対象の要救助者		
	市民	対象数	単位	平成 18 年度	337,883 人
				平成 19 年度	339,058 人
	事業の具体的な内容及び実施方法	利用数	単位	平成 18 年度	68 人
	1. 救助出場			平成 19 年度	42 人
	2. 救助工作車、救助防災資器材の点検整備事務				
	3. 救助現場を想定した救助活動訓練				
	4. 救助技術の向上と研鑽を目的とする救助技術指導会に参加するための救助種目訓練				

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	最終評価	<input type="checkbox"/> 一次評価	<input checked="" type="checkbox"/> 二次評価
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	平成19年度中に改善した点	1 新指令システムを有効に活用して、適正な救助活動の維持向上に努めた。 2 迅速的確な救助活動を行なうための計画的な救助訓練を実施した。		

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		447	521	611
	決算(見込み含む)		447	521	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人) (人) (人)			
	正規職員人件費	31.38 人	288,696	33.13 人	311,223
	公債費				
	事業費合計		289,143	311,744	
	財源内訳	一般財源	289,143	311,744	611
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		855.7	919.4	
	利用数一単位あたり(単位:円)		4,252,102.9	7,422,481.4	

⑥指	項目名	救助出場件数	救助出場した件数	単位	件	H 18	360	H 19	381	H20見込み		将来目標
	活動実績	救助活動件数	救助活動した件数	単位	件		68	67				
	成果分析	救助出場から現場到着までに要した時間	救助出場から現場到着までに要した時間	秒	秒	目標値	300	300				
				%	達成率		242	301			実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 消防本部 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	近年、救助対象は地震等の大規模災害からテロ災害など特殊な災害までに及び、それに対応すべき資器材は高度で価格も高く、財政的に厳しいことから計画的な整備が必要である。それに合わせて、個々の隊員の救助技術向上を目的に演習訓練を計画的に実施していくものである。		
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	救助活動訓練の実施	実践的な救助活動訓練を3回以上実施する。	年度中
	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	評価理由	消防機関における救助活動は、高層建物火災や交通事故等における救助対象から、自然災害、テロ災害など特殊な災害にまで及んでいる。特にサミットなど政治経済の舞台が世界的な規模になるとともにテロ災害の脅威がさらに高まっており、細菌等の生物剤や有毒化学物質、さらに放射能の存在する環境下にも救助活動範囲が及んでいることから、特殊な資器材を整備するとともに、隊員個々の知識・技術の向上を図っていく必要がある。		
	評価日	平成20年5月13日	記入者職氏名	中央消防署消防隊長 齊藤幸由 東消防署消防隊長 平岡利夫

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了					
		予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
		評価理由							
		評価日							
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位...	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
			市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
			評価理由	評価日					

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード			
	基本目標						
	主要課題						
	施策の方向						